

千葉大学ノートテイク会

自ら考え、自ら動く 学生主体の団体 千葉大学ノートテイク会

千葉大学手話サークル「ウルトラマンの会」の
メンバーが自主的に設立した団体

大学の正式な組織となったが
今も運営・活動は学生主体

会の部屋

主体性を維持する自由環境

- ・学生が自由に使える「会の部屋」が大学から提供されている
- ・休み時間などに会の部屋にメンバーが集まり利用者^①とテイカーの距離が近くなる
→ニーズが把握しやすく、実際のテイクや練習などに柔軟に反映できる



練習会

どの学生も運営を経験

- ・練習会班を4つ作り、交代で練習会を企画・運営
→スケジュールが合わずテイク現場に入れ
メンバーも運営を担うことでノートテイク会の活動に参加できる
- ・運営側に回ることで改めてテイクについて考え、見直すきっかけとなっている
- ・担当者が毎回変わるので、多くの経験談を聞ける
- ・質問や疑問は、後日会の部屋に掲示し共有・解決

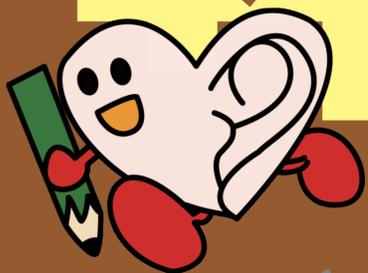
研修会

学生が学生へ講義を開催

- ・聴覚障害への理解・機材の使い方・トラブルが起きた際の対処法など
- ・実際のテイク現場でどのようなことが起こるのか知識を得ることができる
- ・利用者に話をしてもらうこともあり、利用者からの要望を伝える役割もある

まとめ

- ・学生主体で自由に活動できる環境
→各々がテイカーとしての自覚をもつようになった
- ・利用者の人数に関わらず、これからも会を維持していけるよう主体的に活動を継続する



問い合わせ先

千葉大学ノートテイク会

代表：熊田真由美

副代表：井上あずさ、笈沼映美

Mail : info@ntkai.skr.jp

HP : <http://ntkai.skr.jp/>

